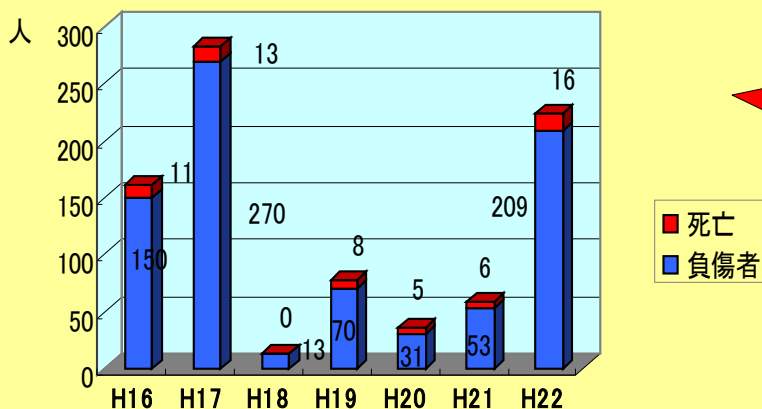


9月1日は防災の日です！

山形県内の雪が原因の死傷者数

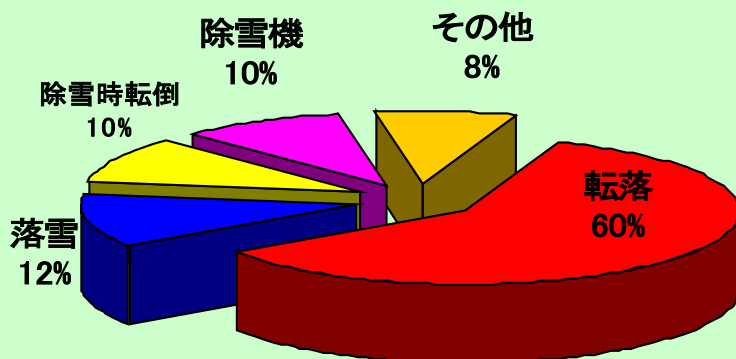


H23.3.10現在 県発表資料より

H22は225名が死傷しています！

雪の事故を防ごう！

H22死傷者の原因割合



除雪機による事故を防ごう！

使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。

人がいる時は使わない！

作業中は絶対にまわりの人に近づかせない。

雪かき棒を使つて！

雪詰まりを取り除く時は、エンジンを停止し必ず雪かき棒を使う。

エンジンが掛けたまま離れない！

作業の時以外は、必ずエンジンを停止する。

後方注意！

後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。

除雪機安全協議会 <http://www.jfma.or.jp/>
社団法人 日本農業機械工業会

安全・安心な冬の暮らしのための雪下ろし作業8つのポイント！

ポイント1 屋根の雪のゆるみに注意！

- 暖かい日の午後には特に注意しましょう。
- 雪解け水や雪がうごく音に注意しましょう。

ポイント3 命綱を使いましょう！

- 転落防止のために命綱を使いましょう。
- 命綱にはザイルや麻ロープなどを使いましょう。トラロープはすべりやすいので、使わないようにしましょう。
- 命綱を固定するには、専用のアンカーを使う、反対側の家の柱に結ぶなど、状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱を体に固定するには、安全帯など幅広いものを使いましょう。
- 命綱は屋根の上で止まる長さに調整しましょう。
- 命綱は正しく使用しないと、逆に危険です。

●もやい結び(命綱)の方法

ポイント2 安全な服装で！

- ヘルメットを正しく着用しましょう。
- 雪がくれないで動きやすい服装にしましょう。
- 厚底の長靴は避けましょう。足裏の感触が大事です。
- すべりにくい防寒性のゴム手袋がお勧めです。

安全・安心な冬の暮らしのための雪下ろし作業8つのポイント！

ポイント4 はしごはしっかり固定！

- 転倒防止のため、はしごの足元をしっかりと固定し、上部をロープで固定しましょう。
- 長さは軒先より60cm以上高くしましょう。
- 屋根に対して真っ直ぐに、決められた角度でかけましょう。
- はしごの昇り降りには特に注意が必要で、

- 1 上から下へおろしましょう
- 2 ロープで固定
- 3 足元を固める
- 4 ななめ屋根への立てかけははしごがずり落ち危険！

ポイント6 2人以上で作業！

- 雪下ろしは、事故に備えて2人以上で作業しましょう。
- やむを得ず1人で作業する場合は、家族と隣近所に声をかけましょう。
- 携帯電話も持ちましょう。

ポイント7 無理な作業はやめましょう！

- 雪下ろしは重労働です。体調の悪いときは無理は止めましょう。
- 上る前に準備運動を忘れずにしましょう。
- 十分に休憩をとりながら、何回かに分けておろしましょう。
- 危ないときはスコップ、スノーダンプを身を守りましょう。

ポイント5 使いやすい除雪道具を！

- 軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップやスノーダンプを使いましょう。
- 雪がつかなくなるスプレーもお勧め。

ポイント8 足場はいつも注意！

- 落雪に巻き込まれないように、上から雪下ろしをしましょう。
- 足場は慎重に作りましょう。
- 軒先は危険です。雪止めより下には足場を作らないようにしましょう。
- 厚さ20cm程度の雪を残した方がすべりにくいです。
- 軒先の雪は最後は落としましょう。
- 軒下の人や電線にも注意しましょう。
- 空からのつら落とは十分長い棒でゆすいでおきましょう。